

広島大学地（知）の拠点中山間地域島しょ部対策領域の主な教育研究活動は、プログラム概要に示したとおり教養ゼミにおける体験授業、この体験授業の発表会、地域志向インターンシップ、秋冬の体験学習、特別講義（地域招聘講師）、特別活動、そしてこれらをまとめる円卓フォーラムなどです。また、COC活動について毎年改善を行っていくために、学生、教員、連携自治体、連携地域等へのアンケート調査を行っているほか、年に数回各地域や市町（主に7市町10地域）を訪問して意見交換や活動などへの要望などをお聞きする会議や打合せを行っています。

また、新聞・テレビなどの報道機関へのプレスリリースを行い、一般市民の方々にもご理解を得る活動を展開すると共に、学生のモチベーションアップにもつなげています。また、文教ニュース、文教速報という教育専門誌、専門雑誌への原稿投稿、市町やJAの広報誌などを通じても、活動の理解につなげています。

こうした活動の年間のアウトプットを定量的にとりまとめたものを成果指標とし地（知）の拠点のレベルアップを目指すほか、アンケート調査・意見交換の定性的データも重要視して改善にも取り組んで参ります。

平成27年度のCOC中山間地域島しょ部領域の総活動数は、学生、地域指導者、教職員など延べ5,339人・コマです。

平成27年度COC成果指標と活動実績概要（一般参加者は除く）

—地（知）の拠点中山間地域島しょ部対策領域—

活動延べ人数 総計 5,339

活動数のうち地域・市町延べ1047、うち教職員延べ1028、

うち学生延べ3236

項目	活動名	内容	延べ参加数	参加内訳	備考
1. 円卓フォーラムの開催（地方創生の原動力）				160	
	フォーラムの開催	テーマ: 地方創生の原動力	160	学生・TA 120名、教職員20名 地域・市町 20名	
2. 教養ゼミ体験授業の実施				1658	
	オリエンテーション	体験計画と地域の概要	116	学生104名+教職員12名	
	事前学習	体験内容と地域の学習	228	104名×2コマ=208名+教員20名	
	体験授業	外部講師現地講義	222	学生・TA参加者150名(10班) 教職員50名、外部講師22名	1班学生10名
		地域指導者フィールド演習	750	学生・TA参加者150名(10班) 教職員50名、地域・市町50名 ×3コマ	
	ふり返り授業	提案・反省・まとめ等	114	学生104名+教職員10名	
	発表会の準備	プレゼン資料作成	228	学生104名+教職員10名×2コマ	
3. 教養ゼミ体験授業発表会の実施				290	
	発表会(前半)	前半5グループの発表	130	学生・TA115名+教職員15名	
	発表会(後半)	後半5グループの発表	160	学生・TA120名+教職員20名 地域・市町20名	
4. 特別講座の実施（地域外部講師講義） 全学対				434	
	講師打合せ	講師との事前調整	33	講師11名 教職員2名×11回	
	ガイダンス	講師紹介・関係地域紹介	52	学生50名×1コマ+教員2名	
	講義	外部講師11名による講義 7コマ(7回)	382	学生50名×7コマ=350名 教員延べ21名 外部講師11名	
5. インターンシップの実施（全学対応授業）				1066	
	学生説明会	受入地域・学生の心得説明	32	学生30名 教職員2名	
	学生個別指導	研修に当たっての知識向上 のための事前学習	94	学生28名 教職員2名×18回 学生現地事前訪問 5名×4コマ 教職員1 地域市町10	
	現地研修 9地域	5泊6日×4名=20泊24日 4泊5日×19名=76泊95日 3泊4日×3名=9泊12日 2泊3日×2名=4泊6日	940	学生研修総日数 137日=コマ数換 算 548名 教職員延べ18名 現地指導者延べ274名 市町指導支援延べ100名	
6. 秋の体験学習の実施（全学対応）				150	
	課外体験学習	3地域	150	学生TA延べ80名 教職員10名 現地参加50名 現地指導者10名	
7. フィールド演習（授業）の実施				200	
	演習	食料社会経済学演習 4コマ	62	学生10名×4コマ=40名 教員12名、地域講義10名	
	体験航海	2泊3日×20名	138	学生20名×6地域(3日)=120名 教員3名×6地域=18名	

8. 宮城県議会地方創生調査特別委員会と学生のCOCワークショップ開催					
	COC視察説明	委員会への説明	46	学生10名、教職員20名、地域5 宮城県議会・宮城県職員11名	於：広島大学 生物生産学部
	ワークショップ	テーマ：地方創生	46	同上	
9. 内閣官房 まち・ひと・しごと地方創生本部事務局COC人材育成取組状況説明					
	意見交換	テーマ：地方創生人材育成	11	本学教職員5名、内閣官房6名	
10. 関係学会における地域志向型教育と地域貢献に関するシンポジウム開催					
	学会シンポ	テーマ：地方創生と人材育成	320	COC等関係大学教職員80名 ×2日(4コマ)	COC中心
11. COC活動 講演依頼等					
	広島市立大学COCプラス研修会(FD)講演		50		
	三次・庄原青年会議所例会 講演		64		
11.1. 連携地域意向調査と連携地域への感謝状贈呈					
	意向調査	聞き取り調査 【調査地城市町等 24カ所】	120	教職員1カ所2名×24カ所=48名 連携市町・地域1カ所3名×24カ所= 72名	
	感謝状贈呈	連携地域15名に贈呈	35	教職員延べ20名、地域15名	
11.2. 大学祭 COC・学生コラボマルシェ開催					
	事前準備	学生打合せ	100	学生10名×5回=50名×2コマ	
	現地調査	特産品等聞き取り調査	40	学生5名×2回=10名×4コマ	
	マルシェ開催	特産品・地域紹介	84	学生10名、教員3名、地域8名×4コマ	
11.3. COC活動評価等 独自アンケート調査の実施					
	アンケート調査	学生アンケート	190	調査対象：学生・TA190名	
		教職員アンケート	16	調査対象：教養ゼミ担当教員	
		市町・地域アンケート	30	調査対象：連携市町・地域担当者	
11.4. 地域連携活動・会議等（各地域会議等）の実施					
	地域会議等	連携地域・市町との会議等	196	教職員平均2名×28回=56名 地域平均5名×28回=140名	
11.5. 依頼論文					
	・農業および園芸(養賢堂), 第90巻第8号(2015), pp827-835				
	課題名：広島大学COCにおける中山間地域・島しょ部との連携による体験学習				
11.6. 報道・広報実績					
	中国新聞：5回、広島テレビ：1回、CATV：5回、文教ニュース：3回、文教速報2回				
	プレスリリース：4回				
	活動延べ活動総数		5,339 名		
		内学生	3236	内教職員	1028
		内地域・市町	1047	その他	28
参考					
17. COC連携地域 10地域					
	①広島市太田川漁協、②東広島市ファーム・おだ、③東広島市JA芸南、④呉市大長、⑤三次市道の駅ゆめランド 布野(大前農園、江の川漁協含む)、⑥世羅町大豊農園、⑦世羅町幸水農園、⑧安芸太田町井仁(棚田)、⑨大 崎上島町食文化海藻塾、⑩大崎上島町金原農園(シトラスかみじま)				
18. COC連携市町・県 4市3町 1県					
	①広島県中山間地域振興課、②広島市水産課、③東広島市農林水産課&企画課、④呉市農林水産課&豊市民 センター、⑤三次市企画調整課&布野支所、⑥世羅町産業振興課、⑦安芸太田町地域づくり課、⑧大崎上島町 産業観光課				